

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

睦沢の里は黄金色に広がっていた。稲穂が早や大きく膨らみ、同じ向きに垂れている。千葉県に注がれた恵みの雨から、今年も真っ白い粒のご褒美をいただけそうだ。コメ農家の皆様、ありがとうございます。いただきます。

ヒロシマ、ナガサキへの原爆投下から80年。けたたましいほどの蝉の声とともに、今年も暑い夏が過ぎていく。誰もが平和について問う、夏だ。

主催事業報告 7/29 「海のフレイム」



主催事業報告 7/30 「スライムパフェ」



主催事業報告 8/6 「ランプシェード」



【貼り絵 ねぶた祭】



主催事業報告 8/2(土) 「親子 de コースターづくり」



主催事業報告 8/3(日) 「親子 de ウィナー飾り切り教室」



主催事業報告 8/5(火) 「親子 de 学ぶお金の基本」



夏休み小学生向け体験講座を12講座開催しました。地域小学生からの応募が大変多く、人気の講座は4倍ほどの競争倍率となり、抽選に漏れた児童も多く出てしまいました。工作の講座では、学年差も大きく、工作時間が限られている中でし

たが、全員が完成することができ、出来上がった作品を並べて鑑賞する時間もありました。親子で参加する講座にはお父さんの参加も多く見られました。普段、公民館をあまり利用できない方の子供と一緒に体験が、今後の公民館利用を促すイベントとなれば幸いです。

クラブ連絡会実行委員会 9/13(土)

各団体の活動では、11月の文化祭に向けて曲目を決めたり制作計画を立てたりするなど、稽古や制作の準備も進みだしたのではないのでしょうか。どうぞ無理のないように活動してくださいね。

さて、今年度割り当てになっているサークルの実行委員打ち合わせ会があります。9月13日、10時、講堂1にお集まりください。前日準備や当日の動きについて説明と役割分担の確認があると思います。必ずお一人の参加をお願いします。

新宿地区子ども会 サマーキャンプ

今年も子ども会のキャンプが行われました。コロナ禍にあった5年前に一度中止になりましたが、長年にわたって続けられている子ども会行事です。市内各地域の子ども会が解散している中、新宿子ども会は今なお活発に活動をされています。子ども会を卒業した中高生、青年になったリーダーさんにお世話になりながら、今年は5名の小学生が参加しています。

長柄町にある千葉市少年自然の家を訪ねてみました。ちょうどお昼の準備で、煙に目をしょぼしょぼさせながらシチューを作っていました。小学生が多くリーダーに囲まれ、鍛えられていました。異年齢の中で生活する3日間が、きっと今後の生活の中で目に見えない効果を生み出していくものと思います。頑張れ、小学生。

毎年考えさせられること ～クスノキ～

先日、NHKの番組、クローズアップ現代で、長崎市出身の福山雅治さんの楽曲が取り上げられていました。その曲は「クスノキ」。

8月9日は長崎原爆の日。浦上地区の爆心地

にほど近い小高い丘にある山王神社に、福山さんは学生時代にたびたび訪れていたそうです。おじいさまから原爆について話を聞いていた福山さんは、そこにそびえるクスノキをテーマに曲作りをしたとも語っていました。原爆を浴びても、その時は焼き焦がれてしまった幹は、そこに生き残り、何十年たっても枝葉をのばし続けています。浦上の町を丘から見守る大樹・クスノキに、人間の命のつながりを楽曲にしたかったのでしょう。

10年ほど前に発表された「クスノキ」は、反響を呼んで合唱曲にも編曲されているようです。今年の長崎平和式典でも爆心地に近い2つの小学校の児童が合唱を披露していました。「ヒロシマ」「ナガサキ」の活字はこの時期になるとよく目にします。あの原爆は何だったのか……。そして今日の平和はどうか、今起こっている紛争はなぜなのか……。被爆者は年々減っていつにいます。せめてこの時期だけでも、日本人が原爆について考え続けることが大切だと思っています。

8月9日、午前11時2分、長崎市は各所から鐘が鳴り、歩く人も、路面電車の乗客も黙祷します。長崎の暑い夏の一コマです。

「クスノキ」

我が魂は この土に根差し
決して朽ちずに 決して倒れずに
我がこの丘 この丘で生きる
幾百年超え 時代の風に吹かれ
片足鳥居人々の営みを
歎びを かなしみを ただ見届けて
我が魂は 奪われはしない
この身折られど この身焼かれども
涼風も 爆風も 五月雨も 黒い雨も
ただ浴びて ただ受けて ただ空を目指し
我が魂は この土に根差し
景色で歌う 生命の叫びを
我が魂は この土に根差し
決して朽ちずに 決して倒れずに
我が魂は 奪われはしない
この身折られど この身焼かれども
(福山さんの映像をYouTubeでご覧になれます。)

大暑 イチゴミルクや サルスベリ さく
クスノキの木陰 静穏 セミがなく

(新宿公民館 館長 迎 浩二)